

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

昨年6月ごろに就職情報サイトでインターンシップの情報収集を始め、8月からはメーカー、コンサルなどのインターンシップに参加しました。当初は業種をあまり絞らず、幅広く会社を見ていましたね。志望業種を絞ったのは、説明会の参加が増えてきた2月ごろ。5月に志望企業から内定をいただき、就職活動を終えました。

志望業界と内定先は？

内定を複数いただいた中で、最終的にはメーカーの開発職を選びましたが、就活を始めた当初、メーカーの志望度はそれほど高くありませんでした。というのも、多くのメーカーでは理系の専門性や能力に見合った評価・報酬を得られないと感じていたからです。そのため当初はコンサルを中心に見ていました。

しかし、コンサルの事業モデルを知るにつれ、ものづくりの重要性を再認識するようになりました。内定先のメーカーはエンジニアへの評価が手厚いことに加え、コンサル的な雰囲気やロジックも求められる点も魅力的でした。理系と



してものづくりに携わりたいという思いにも後押しされ、同社への入社を決めました。

情報収集はどのようにしましたか？

就職活動は世の中のことを知るいい機会だと思っていたので、大手就職情報サイトに掲載されている企業情報すべてに目を通しました。5000社以上あったのでかなり大変でしたが、先入観を持たずいろんな業界や企業のことを知りたいと思ったので。企業を見る際は、どのようなビジネスモデルで利益を出しているかといったことを意識しました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビ経由で見つけた企業を

【就活データ】

- 就活開始 昨年6月
- 就活終了 5月
- 志望業界 メーカー、コンサルなど
- エントリー 約100社
- 面接 約30社
- 内定社数 9社
- 内定先 メーカー

就活体験談。01
自分が本当にやりたいことを、徹底的に考え抜く

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 総合デザイン工学専攻 修士2年 才之神 隆介

受けたほか、キャリア相談を利用しました。ほかのサイトに載っていない企業を知ることができたのは良かったです。

就職活動で一番苦労したことは何ですか？

時間とお金の面ですね。研究は半年間ほとんど進まず、アルバイトも減らさざるを得ませんでした。先輩のアドバイスに従い、前もって貯金しておいたので何とか乗り切ることができました。

時間については、1回の説明会で少しでも多くの情報を持ち帰れるよう努めるなど、いかに効率的に動くかを意識しました。

就職活動で大切に感じたことは？

面接などの場面で、相手の質問の意図を考えることです。一見無茶振りと思えるような質問も、学生の対応力や柔軟性、ストレス耐性といったことを見えています。質問を通じて相手が求めているものを理解し、適切な回答ができるように常に意識していました。同様に、自分が質問する場合も質問の意図が明らかになるよう意識していました。

あとは反省なのですが、就活を通じた知り合いをもっと多く作り

たかったですね。説明会などで隣の学生に声をかけるなどして、100名くらい知り合いになったのですが、その3倍くらい知人を作りたかったです。就活時に情報共有ができるのももちろん、社会に出てからも幅広い業界の方とつながりがあれば、いろんな情報を聞けますよね。

これから就活に臨む学生へのアドバイスをお願いします。

まず自分で枠を作らないということ。自分について言うと、私はバイオ系の研究をしていたのですが、就職先の選択肢がバイオ系メーカーだけだともったいないと感じました。社会にはほかに適性がある会社がたくさんあるはずなので。もう一点は、自分の軸は変えても構わないということ。某タレントが、「夢が変わるのは大人になっている証拠。変わらないのは成熟しているか、物を知らないかのどちらかだ」と言っていたのを聞き、共感しました。私も就活の初めころから考え方が変わりましたが、状況に応じて自身の考えを見直すことは大事だと感じました。これから就活に臨むみなさんも真剣に考え抜いて、自分のやりたいことを見出してください。

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

就活のスタートは昨年8月に参加したシンクタンクと化学系メーカーのインターンです。昨年末までは幅広く情報収集し、年明けくらいから説明会への参加やOB訪問など本格的な活動を開始しました。最後、内定をいただいたうちの2社ですごく迷ったのですが、自分のやりたいことができるシンクタンク（環境エネルギー部門）への入社を決意し、4月で就職活動を終えました。

志望業界と内定先は？

私は中学生の時から環境問題に興味を持ち、この問題が解決された全体最適な社会を作りたいと考えていたため、『環境』を軸として就職活動を進めていきました。最後まで迷ったのはシンクタンクとコンサルです。シンクタンクは環境問題解決のための仕組みづくりや実行支援までを手がけられ、コンサルでは問題解決の手法論を学ぶことで環境問題の解決を目指したビジネスモデル構築などに活かせると考えました。悩み抜いた末、「自分の生涯を賭けられる仕事はどちらか」という視点で、希望する仕事に携われるシンクタンクを選びました。一緒に働きたいと思

る人が多かったこと、迷っている私の意志を尊重してくれたところにも魅力を感じましたね。

情報収集はどのようにしましたか？

私は社会一般の知識が不足しているのではないかと不安があり、経済ニュースや経済誌を読み込みました。企業理解やビジネスモデルの理解に加え、経済全体の仕組みを把握できるよう努めました。シンクタンクの情報については研究室とのつながりが深いので、教授から詳しいお話を伺うことができました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビのサイトは質の高い企業が掲載されている印象があり、実際受けたところも魅力的な会社が多かったですね。理系の就活における選択



case 02 内定者による

幅広く社会を知ること、志望企業の立ち位置を知る

東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 修士2年 鈴木 香菜

【就活データ】

- 就活開始 昨年8月
- 就活終了 4月
- 志望業界 シンクタンク、コンサル
- エントリー 約25社
- 面接 約20社
- 内定社数 10社
- 内定先 シンクタンク

肢を広げられるサイトだと感じました。キャリア相談も利用し、コンサルの試験対策や自分の欠点などについてアドバイスをいただきました。就活に対するモチベーションも上げられ、本当に助かりました。

就職活動で一番苦労したことは何ですか？

とにかく時間がなかったことです。コンサルディングのウィークエンドでは1社当たり数日〜1週間まるまる研究室を空けなければならぬので、研究が進まない焦りを感じました。一方、研究中也就活関連のメールが気になったりと、頭の切り替えには苦労しました。自分で時間を決めて、頭を切り替え集中することを勧めます。また、周囲に就活をしている仲間が少なかったため意識して行動を起こさないとなかなか情報が入ってこない点も大変でした。

就職活動で大切に感じたことは？

自身の就活を通じて感じたのですが、早いうちに志望業界を絞るのは良くないと感じました。私の就活のテーマである「環境」についても、想像以上にいろんなかわり方があることに気づきました。メーカーのCSR活動、金融の排出権取引など

…どのかわり方が自分に一番フィットするかを判断するためには、幅広く社会を知る必要があると感じました。まず社会全体を広く見て全体像を把握し、その上で志望する会社の立ち位置を理解することをお勧めします。

これから就活に臨む学生へのアドバイスをお願いします。

自分にもマッチする会社を見つけるためには「生」の情報を自ら手に入れたら行ってください。一方的に与えられる無機質な情報ではなく、OB・OG訪問や説明会で質問をして会社の雰囲気や社員のひととなりといった有機的な情報を収集することで、自身とのマッチングが見えてくるはず。

いままでの受験は明確な「正解」がありましたが、就活は答えがありません。とはいえ、似ている部分も多く、面接などは回数をこなせば洗練されてきます。場数を踏み、恥をかいた経験が成長につながります。私自身、最初は特攻して玉碎（やぶ）していましたが、4月ごろには自信を持って話をする事ができるようになっていました。

とにかく、いろんなことに挑戦してみてください。やらないで後悔するよりましですから。